



「縄文教室」はじまる！

夏休みの思い出に！親子で土器作り。



第1回目の縄文土器作りは7月20・21日の2日間行い、縄文時代の遺跡から出土した土器の再現に挑む「本格コース」と、自由に縄文土器を作る「通常コース」に分かれて開催。講師に元東北歴史博物館学芸員の菊地逸夫先生をお招きし、土器作りを指導していただきました。

通常コースの皆さんは、先生から土器作りの基本を学んだあと、思い思いに作品作りに取り組みました。事前に作りたい形をスケッチしてきた人、その場で思いつくまま手を動かす人など様々。「思い描いていた形にするのが難しい」「縄の模様を上手くつけられない！」と初めての土器作りに苦戦している声や、「大人も夢中になって子どもと一緒にできてとても楽しかった」「今までで一番上手に出来た！」と土器作りを存分に楽しんだ感想も聞かれました。



開館当初から続く長寿イベント「縄文教室」が、7月からスタート！「縄文土器作り」「野焼き」「縄文料理」を通して縄文時代の生活を学ぶイベントです。

力作揃いの本格コース。



資料を手元に置きながら作る参加者。

一方、「本格コース」の皆さんは事前に作りたい縄文土器を選び、写真や資料を持ち込んで気合十分！

1日目は形作り。黙々と粘土ひもを積み上げます。先生や学芸員、時に参加者同士で相談しながら、なんとか全体の形を仕上げました。

2日目は資料をじっくり観察しながら、装飾を施します。精巧な文様の縄文土器に「なんでこの土器を選んでしまったんだ〜！」「縄文人の技、細かすぎる！」と後悔の声も漏れる中、ホンモノの縄文土器に近づけるべく集中力を高めていく皆さん。

出来上がった土器を見ると、例年に増して力作揃い！！素晴らしい作品が完成しました。



30cm以上の大作に挑戦。



里浜貝塚をはじめ、様々な遺跡で出土した縄文土器を再現。

縄文村講演会を開催します！



「縄文人と古代人の骨を読む」

2024年 9月8日(日)13:00～16:00

会場：東松島市コミュニティセンター

予約不要・入場無料

講演 1 『骨のDNAからルーツを探る』

安達 登氏 山梨大学教授

講演 2 『骨のコラーゲンから食生活を探る』

米田 穰氏 東京大学総合研究博物館教授

今回の講演会では、里浜貝塚と矢本横穴から出土した人骨の最新の研究成果を紹介します。理化学的な手法で分析した結果をもとに、「7千年前の宮戸島に住み着いた里浜縄文人のルーツは？」「里浜の縄文人は魚介類ばかり食べてたの？」「古代蝦夷政策で重要な役割を果たした赤井官衙の官人はどんな人々？」「赤井官衙の人々の食生活は？」など、人骨から東松島の縄文人と古代人を読み解きます。